

教育講演会要旨

活躍するOBが在校生に仕事や人生について語る恒例の「教育講演会」は本年度、音楽クリエイター
の谷真人氏(98期)を講師に招いた。谷氏はピアノ演奏をまじえながら、「自分」を素直に表現すること
の大切さを説いた。

皆さんこんにちは。谷真とって、スケジュール調整
人です。僕は98期の卒業生として、お金を最終的に集め
て、98期という皆さん、お店の人とやりとりし
て、その両親と多分同世代だと思
います。だから、きょう
は僕に息子と娘がいるつも
りでお話したいと思
います。

僕は「音楽クリエイター」
と自分のことを呼んでいる
んですけど、音楽をメイ
ンにしながら、映像にも自分
の能力を使い、音楽と映像
の両方表現するという仕事を
しています。最近ではテレビ
番組の制作にもかかわって
います。NHKのEテレ
でやっていた、「ももクロ」
が司会の番組の曲作りやア
ニメの作画もやったりしま
した。

出発は広告代理店

大学を出て、僕は広告代
理店に就職しました。漠然
と「クリエイティブな仕事
がしたい」と思っていたか
らです。当時はパブルの道
へまっしぐらの時代。世の
中がとてにぎやかでした。
その時代、広告代理店とい
うのは、とても華やかな仕
事だったんですよ。

広告代理店で僕は何をや
っていたかというと、営業
です。営業といっても、広
告のセールスをするのでは
なくて、クライアントさん
とスタッフとの間の橋渡し
の仕切り屋みたいな感じで
す。みんなが例えばイベン
トをやろうとするでしょ
うすると、必ず幹事って
いるじゃないですか。幹事
家になったのかという話だ
という、みんなに連絡を

「持って生まれたものを大切に」

— 音楽クリエイター 谷真人氏 (98期) —

自分に蓋をしない

事をした後、もうちょっととしてピアノに没頭するよ
音楽に近い仕事をしたというになり、アマチュアとし
思っ、一年間だけ転職しては日本のトップレベルに
たんです。それはスカパー
の番組制作の会社で、クラ
マンを辞めて無職になっ
シツクの専門チャンネルで
しまつと、自分の存在意義
映像制作とマーケティング
を確かめられるものもも
の仕事をしました。でも、
そこは一年しか在籍しませ
んでした。心と体を壊して
立るためには何かアクシ
二〇〇一年にプロデビ
ュ

リストの人たちも投票がで
きて、そうしたら、その投
票では僕が断トツ一位だっ
たらしいんです。それで審
査員の人たちが協議して、
同点で一位というふうにな
ったようなんです。すごく不
議なことでした。そのとき
に、ふと思っただけですけ
れど、僕は音大を出ていな
いし、音楽教育って、ほとん
どちゃんと受けていないん
ですが、でも、「自分でこう
し、

曲してみる」って言われた
んです。「えー、作曲かよ」
って思いました。自分は何
かをアレンジすることはで
きるけど、ゼロからのもの
をつくり出すことは苦手だ
というふうな、決めつけて
たんです。でも、「一カ月
猶予を与えるから、曲書い
てこい」と言われて仕方な
く始めたんです。

自己表現は大苦手
世の中にはたくさんの人
がいるし、いろいろな価値
観の人がいます。そういう
人たちの中に自分が投げ
込まれたときに、どうい
うふうに自分を表現する
か、ということも大事で
す。



ピアノ演奏を挟みながら講演する谷真人さん



生徒のピアノ演奏で歌う谷さん

しまつたんです。その後、
一年半無職の時代がありま
した。そのときに、本当に
心の問題と向き合っ、ど
うしたらいいのかというこ
とを毎日考えていました。

「うん？」と思っただ
もしれないけれど、お客さ
んには伝わった気がしたん
です。だから、自分は音楽
によって社会に貢献できる
なをして自分を表現したい
というの、自分の生まれ
て何よりも、自分が持つ
てや生い立ちを否定する
ことになつてしまふと思
うから、表現してほし
い、そういう
ことを言いたかつたん
です。

僕自身は、静高を卒業し
たばかりのころ、まず体が
あまり丈夫じゃなくて、そ
れもあって自分を表現し
た苦手でした。最初に就職
した広告代理店でも、個性
的な年配の人たちの、もの
すに圧倒されてしまつて、自
分の言葉で何かを表現す
ることが出来ませんでした。
例えば打ち合わせで、
「じゃ、谷はどう思うの？」
と言われてたときに、もう、
かつと顔が赤くなつてしま
つて言葉に詰まっちゃつた
んですよ。そういうことが
ずっと続いていって、だ
から、自分で自分になつて
しまつたんですよ。

親やご先祖を意識

だから、今でこそ映像の
仕事をしたりとか、ピアノ
を弾いたりとかしています
そのときに、音楽がやっば
り救ってくれたかなと思
います。

「うん？」と思っただ
もしれないけれど、お客さ
んには伝わった気がしたん
です。だから、自分は音楽
によって社会に貢献できる
なをして自分を表現したい
というの、自分の生まれ
て何よりも、自分が持つ
てや生い立ちを否定する
ことになつてしまふと思
うから、表現してほし
い、そういう
ことを言いたかつたん
です。

育てはするけれど、ご両親
絶対やめてほしいんです。
感じたこと、感じたもの
を素直に表現する、それは
すごく大事なことです。僕
は二〇代三〇代にそれが出
来なかつた。だから、きょう
のお話では、みんなは、も
つと自分なりの道で、自分
が持つていけるもの、備わ
っているものを素直に表現
してほしい、そういう
ことを言いたかつたんです。
きょうはありがとう。

27歳でピアノ再開

実はサラリーマンをや
っていたときにピアノを再開
してました。ピアノは小
学校時代に二年半ぐらい習
ったんです。二十七歳のとき
に遊びでまた始めて、趣味
や世界各国からのジャーナ
ラ

ラヴェルの曲を演奏して優
勝したんです。でもね、実
は優勝といっても、もう一
人一位がいたんです。要は、
楽を通して自分がやるべき
ことがあるのかなって、何
生まれたものって、自分で
育てはするけれど、ご両親
絶対やめてほしいんです。
感じたこと、感じたもの
を素直に表現する、それは
すごく大事なことです。僕
は二〇代三〇代にそれが出
来なかつた。だから、きょう
のお話では、みんなは、も
つと自分なりの道で、自分
が持つていけるもの、備わ
っているものを素直に表現
してほしい、そういう
ことを言いたかつたんです。
きょうはありがとう。

は二〇代三〇代にそれが出
来なかつた。だから、きょう
のお話では、みんなは、も
つと自分なりの道で、自分
が持つていけるもの、備わ
っているものを素直に表現
してほしい、そういう
ことを言いたかつたんです。
きょうはありがとう。

ソフトウェア開発の
エクセレントカンパニー

ISO9001:2008年版認証取得
ISO27001:2005年版認証取得

ユニテック
ホールディングス株式会社

代表取締役 鈴木 佐太郎 (81期)

420-0911 静岡市葵区瀬名1-18-33
TEL 054-264-1122 FAX 054-264-7771
東京・沼津・長野 http://www.unitec.jp

【経済産業省】
システム企業監査台帳登録
ISO9001認証企業
ISO27001認証企業

世界にひとつの
手作りリング

ORIGINAL ATELIER PLAN

婚約、結婚リングなど
ふたりにとって特別な日の思い出に
手作りリングを作ってみませんか。
初めてでも、スタッフが丁寧にサポート致しますので
安心して作りいただけます。

同窓生とご家族の皆様には、特別にご優待をさせていただきます。

宝石・時計・メガネ・補聴器
コーラルベル
電話予約で補聴器をお試しいただけます。
0120-252-876 佐川博(84期)・佐川里美(88期)
http://www.coralbell.com 雅子(119期)・朋子(123期)
営業時間/10:00~19:00 水曜定休 (株)ラフィアーネ・サガフ 静岡市葵区呉服町2-1-9 呉服町プラザビル1F

柔道部 OB会総会

創部123年、伝統重く

思い出話も次々

平成二六年度静岡高校柔道部OB会総会が八月二三日、OB二二名参加のもと、静岡市内で開催された。青木紀賢代表幹事(76期)の進行で、総会はずり見勝弥会長(71期)の挨拶後、議事に移り、望月敏男副会長(79期)から事業報告及び事業計画案、青山敏一会計幹事(80期)から決算報告及び予算案の説明があり、いずれも原案通り承認された。

また本年度は二年に一度の役員改選の時期に当たり、四條進顧問(69期)、田村清高顧問(73期)、里見会長、稲葉辰馬副会長(75期)、望月副会長、他七名の幹事留任と、今回の総会で島村明利氏(91期)の新幹事就任が全会一致で承認された。続いて東京在住の片岡安・講道館柔道八段(76期)から、日本柔道界の実情についての講話があり、「柔道界は昨年、指導者の暴力問題や、助成金の不正受給が問題となり、全柔連の改革を進めて約一年が経過したが、未だ多くの課題が残されている」とのことであった。約一時間の総会は無事終了し、千葉県から参加の石川倫男氏(82期)の乾杯の音頭で、第二部の懇親会が始まった。山口高史幹事(86期)の司会で、各々が近況報告や静岡柔道部時代の懐かし思い出話を披露した。大先輩・金子雅彦氏(71期)から、若きOB矢田悠氏(115期)まで、それぞれ立場や思いを異にしながらも、おっかない先輩もいたけれども、皆、静岡柔道部のOBであることに誇りを持っている様子だった。地球上世界のどこかで紛争が絶えない現代社会。柔道部の大先輩でフランス在住の望月雄氏(71期)は、「柔道の目指すものは(自利共栄)、自分のことだけ他共栄、自分のことだけを利己的に考えないで、他人のことも考えて、お互いの手を取り合って、柔道を通じて世界各国の人々と交流し、世界平和に尽力する住の望月雄氏(71期)は、ことである」と常々語っておられるが、相手を思い遣る心は柔道の基本である。大変重たい言葉として受け止め、次世代の人たちに引き継いでいかなければならないと思つた。



議案審議、役員改選などを行った柔道部OB会総会

しりあがり寿氏 受章祝つ会

昨年、同窓会総会の記念講演で講師を務めた92期しりあがり寿(本名・望月寿城)さんの、平成二六年度春の紫綬褒章の受章を祝つて、六月三日に静岡市葵区の静岡グランドホテル中島屋で開催された。しりあがり寿さんの来静にあわせ急遽開催したにも関わらず、同期一八名が集まった。冒頭遠藤壽信92期代表幹事からの「紫綬褒章は學術・芸術・技術開発などの分野で功労があった者に授与される褒章で、同期の受章は我が期の誇りであり今後のさらなる活躍を期待する」との挨拶があり、出席者全員からお祝いの言葉が述べられた。また、当日出席できなかった関係者のメッセージからもお祝いの寄せ書きが届けられた。これに対し、しりあがり寿さんは、「閣議決定前に内定の電話をいただいた時には信じられず自分自身で

親の生み出した応援団 塚本氏の長寿祝いOB集う

我が校に正式な応援団が誕生したのは今から五八年前の、昭和三十一年のことです。当時の校長福山富雄氏(一四代校長、昭二四―三六年在任・故人)の強い要望を受け、元慶応応援指導部長をつとめてこられた塚本太郎氏(静岡市清水区在住)が母校に招かれ、氏の熱い指導により静高応援指導部が産声をあげました。初代団長は故人の飯塚剛氏(73期)、他に六名の団員で今から五八年前のスタートであります。本校の応援スタイルが慶



塚本太郎氏(前列中央)を囲む出席者



チームワークよく作品を仕上げる静岡茶華道部の代表5人

を願う「来年もまた、甲子園に行こうね」と印高の精神を謳い上げました。元団員の出席者は前島秀章(74期)、加藤勝夫(75期)、梶原孝之(76期)、安池康之(76期)、天野一(77期)、宮村惣三郎(78期)、萩原英昭(81期)の各氏で、(76期)安池康之



しりあがり寿さん(前列中央)の紫綬褒章受章を祝うために集まった92期の同期生

普及を目的に企画された事業の若年層への波及効果が大きかった、と主催者からも、お褒めの言葉を頂きました。参加した生徒たちは、テオの「One for All」にふさわしく、チームワークよく質の高い作品を仕上げました。司会者からは、顧問の原先生や生徒に多方向にわたるインタビューがあり、それぞれの立場で明確に答え、静高らしさをアピールしていました。(茶華道部・華道担当講師 海野俊彦90期・海野昌子91期)

秋季高校野球静岡県大会は八月下旬に地区大会が始まり、静岡高は三年連続の中部地区優勝を果たして県大会に臨んだ。県大会も三島南を11-1、袋井と日大三島を10-0のスコアで撃破、五年連続21度目の東海大会出場を決めた。決勝は浜松修学舎に13-8で勝ち、三連覇を達成した。中部地区大会は、夏の甲子園に出場したことでシードされ、順位決定戦(準々決勝に相当)から登場。常葉学園橘との打撃戦を12-5で制した。準決勝の静岡市立には9-1、決勝の東海大翔洋は10-0とすべてコールド勝ちだった。新エース村木や古川の一年生右腕、貴重な二年生左腕村松好投手を擁し、新主将の安本内野手、堀内捕手、内山外野手ら甲子園経験者が中軸を担う打線も強力だ。

5年連続で東海大会へ 秋季高校野球 県大会3連覇

最後に出席者全員で記念撮影をし、閉会となった。(92期 遠藤壽信)

燃える！ 静高魂

一後援会は、物心両面で野球部をサポート致します一

☆☆☆野球部後援会会員募集中☆☆☆

年会費2口1万円。郵便振替:00870-6-49256「静高野球部後援会」

◆後援会員限定「応援帽子」販売のお知らせ。(詳細は後援会ホームページが事務局までお問い合わせ下さい)

静高野球部後援会 会長:木内藤男 後援会ホームページ http://www.yakyubu-koenkai.jp 事務局:〒422-8633 静岡市駿河区国吉田1-7-37 木内建設(株)内 TEL 054-264-7111 FAX 054-262-0095



第96回全国大会 3年振り23回目の甲子園出場!!

同窓会・同期会

傘寿迎え最後の集り

次々に登壇 豊富な話題熱く語る

69期

69期は傘寿の年を迎え、最後の同期会を開催...



同期会の散会時に配布された当日出席者の記念写真

早さしみじみと痛感して... 会・進行でスタート。最初...



昭和28年3月の卒業記念写真

一時の歓談の後、今回が最後の... 懐かしい静岡市の風景写...

以下にその概要を列記す... ①乾杯の挨拶と発声...



横浜・山下公園などの散策を兼ねた76期有志一行

76期スポーツ愛好会

静岡から12人、現地4人

横浜に集合 会食や散策

76期でクラブ活動をしてきた有志で結成しているス...



庵原支部総会に出席した卒業生と来賓

母校の話興味深く 若手参加呼び掛けも

庵原支部

例年、寒さの厳しい二月に開催してきた庵原支部総...

静岡高校125期 (平成21年3月卒業)

「卒業6年目の会」

日時:平成27年1月2日(金) 14:00~ 場所:ホテル センチュリー静岡...

お誘い合わせの上、是非ご出席ください。



住まいづくり

地球に感謝。素敵に暮らす。

株式会社 ナチュラルスタイル

静岡市葵区東草深町16番1号

TEL 054-248-2780 FAX 054-248-2790

http://www.ns-ie.com

取締役会長 安池 康之 (76期)

渡辺 俊之 (96期)



総会・懇親会の参加者は約180人。全体写真の撮影に挑戦した

66年の伝統、30人超参加

『歌う懇親会、楽しむ』

江ノ島会

第六六回江ノ島会が平成二五年九月二九日、いつもの場所江ノ島恵比寿家で開催された。静岡から水元敏夫校長、荻野覚同窓会長、三浦俊一同窓会事務局長、また奥澤八重子前会長夫人をお迎えし、60期生から95期生までの総勢三〇名超参加の会となりました。

総会は短く、懇親会は明るく楽しくがモットーの江ノ島会は、60期の上杉重吉氏の乾杯の音頭で懇談が始まり、応援指導部OB牧野尚夫氏(89期)が昨年と同様指揮をとり、校歌・道遥歌・応援歌、果ては某高の校歌まで飛び出し、歌う同窓会となりました。校歌の2番から4番も上杉氏、佐野旭氏(64期)、野沢正憲



関東同窓会

180人集結、新企画が好評

静中・静岡関東同窓会の企画が実施されるなど、時をいながら静岡の現状をSave Iwateしずおかも設立された。復興はドリンのソロ演奏は初めて取り巻いて聴き入った。57期の岩井平一郎氏のご発表で乾杯した後は懇談。

震災復興支えた静岡ネット

寺井氏(92期)報告、心打つ

「Iwateの復興ボランティア活動」と題して講演。震災から三年を経過した現地の姿や静岡の仲間が支援を支えた経緯を、時にしんみり、時にユーモアを交えて語った。全員引き込まれるように耳を傾けていた。

また、プロのマンダリン奏者である川口雅行氏(82期)による演奏が行われ、古本を交換する「古書コミ」

鳥居校長には多彩な資料が残り、九月最後の日曜日、江ノ島に来てみませんか。(82期 富坂修)

（注）手違いにより掲載が遅れました。お詫言います。(編集委員)

とが残念です。九月最後の日曜日、江ノ島に来てみませんか。(82期 富坂修)

（注）手違いにより掲載が遅れました。お詫言います。(編集委員)

新校長の熱意実感 先輩後輩和やかに

大井川支部

大井川支部の総会ならびに懇親会は六月一四日、鳥田市の「大井神社宮美殿」で、母校から鳥居校長、同窓会から荻野会長と三浦事務局長の三名をお迎えして開催しました。

部は、各々の好みに合わせ、存分に味わっていました。懇親会は、先輩後輩の隔てなく和やかに、そして賑やかに、各種アルコール類からジュース類すべて飲み放題に総勢二一名で楽しく過ごしました。

懇親会は、68期長嶋孝氏存分に味わっていました。懇親会は、先輩後輩の隔てなく和やかに、そして賑やかに、各種アルコール類からジュース類すべて飲み放題に総勢二一名で楽しく過ごしました。

最後に、来年も元気に再会することを誓い、道遥歌を斉唱し閉会しました。(68期 塚本陽二)



60期から95期までのOBが集まった第66回江ノ島会



先輩後輩の隔てなく語り合った大井川支部の総会参加者

同窓会・同期会

Lighting For Your Safety

Koito

http://www.koito.co.jp/

安全を光に託して
人とクルマの安全は私たちの願いです。

株式会社小糸製作所
【本社】東京都港区高輪四丁目8番3号 TEL:03-3443-7111(代表)
【静岡工場】静岡市清水区北脇500番地 TEL:054-345-2251(代表)
代表取締役会長 大塚隆司(74期)

同窓会・同期会
今年は入学70周年記念

混乱体験、絆強く

66期

私たち66期は終戦直前の昭和十九年四月、静岡中学に入学、今年が入学七〇周年になる記念の年である。入学当時、戦局は末期を迎え、翌年六月には静岡大空襲により校舎焼失。終戦後は高松の旧住友軍需工場青年学校、まもなく漏電焼失、曲金の三菱重工の施設等に移転したがそれも東の



入学70周年記念の同期会に40人を超す友が顔をそろえた

おられる恩師鈴木殿夫先生(53期)もお出でいただいた。ほかに二名の友が集まった。会場は静岡市葵区のホテル。入学当時の紅顔の美少年も髪は薄くなり、腰を屈め、背も丸くなり、八〇歳の年齢を痛感した。しかし、金沢から車椅子で夫人同伴で参加してくれた辻俊成君や、天神屋を創業し、地元で活躍していた望月哲夫君らが今回、同期会初参加してくれたことは会を盛り上げ、楽しくした。皆の関心はやはり健康のこと。八〇歳すぎ生き方について同期の医師今村立五君の講話を聴くなど身体の話が賑やか、話は尽きない。恩師鈴木先生は懐かしい昔話で皆を沸かした。たちまち時間が過ぎ、最後は校歌斉唱で幕となった。(66期 多田三夫・永井益三郎)

マッカーサーの命令で、昭和二四、二六年夏、六三三制になった時、五この校名で甲子園出場年制の「静岡中学」は消でも当時私たちは言いました。静岡第一高等学校の学名校名になりました。だから、66期は静岡五年卒業組と、新制高校卒業組に分かれたのです。でも、この校名は、はかなくも、たった一年で消滅しました。第一第二の序列は民主主義に反するといふのです。そ浜上陸に備え死ぬ訓練をして、東の間の「城内高」に消滅してしまいました。一三歳で戦死を覚悟していた大日本帝国の軍国少年は、もう八二歳の老兵になりました。 (67期 中村宏)

静岡第一高等学校

知っていますか... 1年で消えた校名

長谷は四月入学、六月空襲全滅。短い二か月の間、全員が米軍大

おめでた、今年も2人受章



県外からの参加も含めて四〇人が出席した静岡73会

73期

今年も73期同期会(静岡73会)が恒例によって七月三日、静岡グランドホテル中島屋(静岡市葵区紺屋町)で開催されました。73期は今年も大木茂君、木村栄一君の二人の仲間の叙勲とい

私たちが73期は後期高齢者となりまして。認知症は住み慣れた街で、住み慣れた家に住み続けるために切実なテーマです。介護制度が始まって一五年、私は介護保険制度が始まる数年前から、地域のなかで誰もがくつになつてもその人らしく安心して住み続けることが出来るように地域活動に関わり、静岡市の地域福祉計画や地域福祉条例の策定に携わり、認知症のお年寄りの介護、介護する家族をサポートしてきました。世界一の長寿国となった今、誰もが認知症になる恐れ

西谷氏 認知症怖くない

血管性やアルツハイマー型認知症の症状が疑われたり、自分自身でおかしな今、認知症になつても、安心して住み慣れた町の住み慣れた家に住み続けられまなことが第一です。その人らしく住み慣れた地域での介護保険です。でも介護保

今年も73会展

静岡73会にあわせて同期有志九人による作品展「静岡73会展」が、ギャラリィワタナベカメラ(静岡市葵区呉服町)で開催されました。今年で六回目。来年も同所七月二日から七日まで開催予定です。



静岡73会展の会場で記念写真におさる出品者たち

バスケット新年初試合・新年会のご案内
例年通り1月2日、母校体育館で新年初試合・新年会を行います。OB・OGの皆さん、振るってご参加ください。
平成27年1月2日(金)
12時~OB・OG対抗試合、13時30分~現役vsOB・OG戦、15時~現役激励会
17時~新年会 ※詳細はHPとOB・OG会報(12月中旬発行)にてご案内します。
Facebookグループを開設しました
FacebookにOB・OG会グループを開設しました。Facebookご利用中のOB・OGの皆さん、ぜひグループにご参加ください。参加には既に参加しているメンバー(現在72名)からの招待が必要です。詳しくは下記事務局までメールでご連絡ください。
HP:がんばれ!静岡高校バスケットボール部
http://shizukobbcc.wordpress.com/
OB・OG会報が届いていない方は、お名前・卒業期・ご住所を下記までご連絡ください。
shizukobbccog@gmail.com FAX:054-253-1743 事務局 沼田(102期)

会議・行事弁当の み の り
地域をつなぐ 笑顔をつなぐ お弁当
054-263-8139 URL http://www.minori8139.com
〒422-8004
静岡市駿河区国吉田1丁目1-7 FAX.054-294-7731

6月4日、最後の総会

心に残るモンゴルの旅



最後の総会となった64期同期会



64期恒例の同期会は、いつもの六月四日、いつもの

64期

会場、静岡市駿河区のホテルセンター静岡で開催された。ただ今回をもって総会としては最終とし、昭和三五年ごろから毎年続けてきた会の資金は残すことなく、同期の桜井一男前同窓会長により同窓会本部に寄付すべく託し、今後は任意の集まり、出合いを楽しみむかとして末永く続けること。

歓談、歓談で時間忘れ

元気な吉川先生に感激

75期



肩を組んで歌う75期の参加者

静岡市葵区の静岡グランドホテル中島屋で六月二日、今年の75期同期会を開

同窓会・同期会

元気な姿を見せ出席者を感激させた吉川晴夫先生がいつもの含蓄のある話を披露



催しました。既に四〇数年、降亡くなった仲間へ黙祷を毎年開いていますが、近年は先に先立って前年の会

モンゴルを訪れた64期有志一行(二〇〇二年七月)

85期

前年上回る65人参集

始まった。幹事を務める五十住学君がユーモアあふれる開会の辞を述べ、高校時代に野球部主将を務めた石神修次君の音頭で乾杯した。

昨年を上回る多くの出席者の中には、卒業以来四五年目で初めての出席者など久々の邂逅も多く、一同懐かしい思い出や近況報告に時の経つのを忘れて歓談し



全国から65人が参集した85期同期会=静岡市葵区の浮月楼で

とを期待するものであった。この日は、昨年より五名多い三二名の出席となり、多岐にわたる時の経つのも忘れ、結びとして、木村昭雄君の素晴らしいテノールによる「富士山」の披露があり、更に彼のリードで校歌の大合唱をもって格調高く幕を下ろすことができた。

ここに我が期の歩んだ道を振り返り、その足跡を少しでも同窓の皆様にお伝えしておくことも筆者としての務めと考え、記すことに致しました。

昭和十八年春、憧れの長谷の校門をくぐり歴史と伝統に包まれた威厳の校舎は、中学三年の六月、静岡大空襲により、惜しくも焼失し、戦後は旧住友・田三菱工場

への応援をはじめとして、昭和四〇年初頭より有志にへと流転の末に新学制度を迎えるに至りました。しかし、こうした境遇の中でも決して意欲と希望は失われず、卒業後も甲子園に新しい部活動の創設等、若いエネルギーを惜しみなく発揮し、卒業後も甲子園

め一齣となりました。かように64期は未だ元気であり、不滅であることを信じております。さらに特筆すべき点として、東京で関東64期同期会が七月七日を定例日と定め、活発に行われていることを付記します。

これらの作品を母校に寄贈するよう言い遺した。関君は昭和四一年の入学から四年の卒業まで大村先生の教えを受けていて、思い出深い高校で作品が展示されることを願った。関君の言葉を受けた二男の公務員・関智史さん(33)が静岡市葵区本通が一周忌を機に母校への寄贈を申し出た。高校ではブロンズ像の「道成寺」と版画「黙想」を同窓会館に展示する。鳥居春仁校長は「展示できる芸術作品が新たに三点加わって、学校の宝物が増えました。芸術を大切にしている学校と言う印象を皆さまに持ってもらえたら嬉しい」と語った。

大村政夫先生の3作品母校に寄贈

関氏(85期)の遺志

静岡高校で長年、教鞭を執った彫刻家・大村政夫先生の彫刻と版画作品合わせ三点がこのほど、同校に寄贈された。昨年夏に逝去した85期卒業生・関直樹君

の遺志により、遺族が贈った。応接室と同窓会館に展示される。寄贈された作品はブロンズ像の「道成寺」(高さ約四寸)、版画作品の「黙想」(幅約一・一センチ、高さ約八・一センチ)と「黙想」(幅約四・五センチ、高さ約六・〇センチ)の三点。



大村政夫先生の作品の寄贈を受けた鳥居校長(中央) 作品は左から版画「黙想」、ブロンズ像「道成寺」、版画「黙花」

大村政夫先生は大正三年、当時の東京市で生まれ、平成一〇年に亡くなりました。彫刻家として昭和二三年に日展初入選し、特選など大活躍、日展の審査員、評議員、参与などを務めた。この間、昭和二四年から五〇年にかけて静岡高校教諭として教壇に立った。

(85期 久保田明)

「夜より昼へ」と開催方法

62・63期

学徒動員や空襲 思い出語り合う

昼開催で会場工夫

参加者数回復のために、会える時間は長くないと全員の通知し多数の参加を呼

同窓会・同期会

この知らせは、入学式の壇上に立った校長先生から初めて聞かされた。間処と

68期 鈴木俊彦氏

校舎とわが家、焼失

あのころ、ぼくは静中の一年生だった。本部校舎は大正初期に建てられたもの

えをそれが初めて聞く言葉のように何度も何度もな

四月以降の日本国土は、連日のように敵機の爆撃を受け、日本のどこかしらで

全部焼失し、わずかに剣道の道場が焼け残っただけ

を変えた62・63期同期会会場を選択するに当たり、展望が良い、評判の良いホテル

び掛けた。参加募集の結果申し込み二七名。静岡駅九

の申し出。マイクを渡し発言を促すと、彼一言「皆に

戦争中の学校生活などについて語り合った62・63期同期会

秀才の誉高い近所の上級生(辻定三さん)が「畜生

軍中生活は、訓練のあと肩を組み合い輪になって、大声で

はいられた。晴れあつた空に群をなして飛行機が

それは、随分長い時間のようであったが、おそらく

七月の中旬ころから、中学校は授業を再開した

当時の父は陸軍の予備役工兵少尉として台湾に出征

平成26年度 静中・静高同窓会総会 開催のご案内
「地球工学・地球科学の挑戦」
メタンハイドレート、海洋鉱物・エネルギー資源とその開発
清水賀之(93期) 東海大学海洋学部 教授